

コロナ危機から暮らし・営業・医療を守って全力

日本共産党

八幡西区市政対策委員

【活動地域】

黒崎・萩原・折尾・本城方面

ながい 永井ゆう



若い力で
政治を変える
30歳



1990年愛媛県今治市生まれ。松山大学経済学部卒。JA職員をへて、健和会大手町病院事務職員。趣味はフルマラソン（5回出場）、バスケットボール、筋トレ。

コロナ感染拡大で医療崩壊の危機に直面しているにもかかわらず、自民・公明両党は「自助」と言って国民に自己責任を押しつけています。いま政治がしなければならないのは、3500億円の「下関北九州道路」ではなく、コロナから市民の命と暮らしを守ることです。永井ゆうは、みなさんの願いがいきる市政に変えるため、若い力でがんばります。

今期で勇退する
石田康高市議から
バトンタッチ



共産党の議席を引き継がせてください。

市民と共同し、ねがい実現へがんばる日本共産党

コロナ対策 PCR検査センター設置 高齢者施設等にも検査

様々な実態調査をもとに、市長に7回173項目を申し入れ。PCR検査センターの開設や高齢者・障害者施設の職員・



市長に申し入れる共産党市議団(2020年11月)

入所者の無料の検査実施につながりました。住民のみなさんに、持続化給付金や国保・介護の減免など使える制度のお知らせと援助を行っています。

子ども医療費助成 高校卒業(18歳)まで拡充



今年4月から中学生まで、2022年1月からは高校卒業(18歳の3月末)まで、医療費の助成が広がります。日本共産党は1970年代から市民のみなさんと共同で、「子どもの医療費を無料に」とくり返し求めてきました。

👍 返済不要の奨学金
若者を応援します

👍 18歳まで医療費 窓口負担ゼロ

👍 学校給食を無償に

👍 全学年ですぐに **35人学級**
さらに20人程度の少人数学級へ

👍 タクシーにも使える
高齢者福祉乗車券

👍 最低賃金引き上げ
中小企業支援とともに、国に要求します

👍 地域経済を元気に

新しい市議会できりくみます

若者の声を市政へ届けます



永井ゆう

ジェンダー平等社会へ

民法改正による選択的夫婦別姓制度の実現と、「世帯主」制度をなくすようがんばります。



温暖化ストップ

原発や石炭火力発電をやめ、再生可能エネルギーを推進します。